

心の絆フォーラム「後見人は誰がなる？」 開催事業

特定非営利活動法人 心の絆ネットワーク

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀6番11号グレイスビル2階

助成事業の概要

・目的

＜フォーラム開催＞障害のある人の親なきあとを見据え、備えることはどんなことかを学ぶ。また後見制度を使うなら誰が後見人になるか、後見人を選ぶうえで何が大切かを伝える。

＜冊子づくり＞フォーラムの内容や後見制度についてまとめた冊子を作成、配布することで親族や関係機関が備えることや相談できる場所を知ってもらう。

・時期

＜フォーラム開催＞令和4年11月19日(土)

＜冊子づくり、配布＞令和5年1月10日から3月24日まで

・内容

＜フォーラム＞

講演（親なきあと相談室 渡部伸氏）

- ・どう方法でお金を残すか（遺言や信託）
- ・そのお金が本人のために使われるようにするにはどうすればよいか（後見）

討論 テーマ「後見人は誰がなるか」

後見の現状データ、親の思い、後見人の活動の内容や実情などを出し合い、よりよい後見のありかたを探る

＜冊子づくり＞

12ページ、300部作製しフォーラム参加者や関係機関に配布

※なおこの冊子はパート1になっているが、他助成団体から助成を受けパート2を作成し同時に配布を行った

事業の成果

フォーラムには122名の参加者があった。渡部氏の講演についてはアンケートでも分かりやすかった、また聞きたいと好評だった。自分の状況と照らし合わせて考えた方が多かった。

討論については、当事者である親、専門家として弁護士、法人後見と立場の異なる関係者がそれぞれの後見に対する考え、大切にしていること、後見人の活動の実態を話したところ、事例を多く交えたためか「具体的なことを初めて知った」「私の場合いつから後見を始めたらいいのか」など理解を深めることができた。

参加者のアンケートからは、漠然とした不安から課題が見えた、不安だったが何とかなるかも、希望がもてたつながりを大切にして今後を考えていく、継続した情報収集をするひとりで抱えなくてもいいことがわかったといった感想が寄せられた。

相談会の開催

今回のフォーラム開催から受け取ったアンケートにより、感想とは別に、個別対応による相談会の開催希望が多く寄せられたので実施した。予約制による個別相談を行い、6組9名の参加があり、

当方の専門家・スタッフ5名による悩み事困り事の相談を受けた。それぞれご本人に関わる事例やご家族に関する問題等の相談を受け、専門家への橋渡しや、行政への案内を行うことができ、参加者の満足度をある程度達成することができたと考えている。

個別の案件ではあるが、共通する課題は、今までは家族が責任と自覚を持って行ってきた家族の世話を、いつ、だれに、どのようにして引きつぐのか？それには制度があるのか？費用はどのくらい掛かるのか？という疑問であった。時代が変わり、制度が変わり、初めてのことばかりになるため、不安がどんどん膨らんでいるようだった。

冊子づくり

成果物として12ページ、300部作製
フォーラム参加者や関係機関に配布
発送したばかりで直接的な感想はまだ受け取っていない。

成果の広報・公表

本事業のフォーラム参加者だけでなく、フォーラムの趣旨に関係があると考えられる、広島県内の障害者相談機関、地域包括支援センター、社会福祉協議会へ今回制作した「親なきあとの備え」の冊子を郵送にて計270部配布した。

それと、アフターコロナを見据え、日々の活動において残りの冊子を活用し、今までに関係性を持っていなかった組織や団体への広報を行い、広く認知してもらうための対面活動を実施している。特に、フォーラムに参加された方からの紹介や、登壇していただいた講師役からの情報提供による新しいネットワークの開拓を行っており、各方面へ出向くことを進めている。

今後、冊子の内容をホームページに掲載し、個人の方や、我々の活動を認知していただけない

い組織・団体とのつながりを構築していく。

今後の展開

引き続きフォーラム参加者等からの無料相談を続ける。相談の内容に応じて公的な相談機関につなぎ連携して支援し、司法的な内容は司法書士や弁護士につなぎ解決を図る。

これまでに受けた相談では、比較的障害の程度が軽く福祉サービスを利用していない人の親族から、親なきあとの今後の住まいについての相談が多数あった。自宅に住みながらどういう支援（福祉サービスや後見、お金の管理など）が受けられるのか、福祉的な住まい（グループホーム）等の見学や説明会を計画していく。

親なきあとの備えについて今回は渡部伸氏に講演してもらったが、別の講師を依頼し他の角度から備えの具体的な内容について講演を行いたい。また本人向けのお金の使い方、管理の仕方、気を付けることなどを知るワークショップ的な研修会を行いたいと考えている。